

ポケットカード株式会社

2017年2月期 決算説明会

代表取締役社長 **渡辺 恵一**



2017年2月期 業績概況

業績概況

百万円

	16年2月期	17年2月期			<参考> 通期業績予想 (10/6公表)
			前期比	増減率	
① 営業収益	35,676	37,619	+1,943	+5.4%	37,300
② 営業利益	3,759	4,094	+334	+8.9%	4,000
③ 経常利益	3,779	4,093	+314	+8.3%	4,000
④ 当期純利益	1,682	2,239	+557	+33.1%	2,200

営業利益 前期差異要因

	16年2月期	17年2月期	前期差
営業利益	37.6 億円	40.9 億円	+ 3.3 億円

増益要因 + 31.1 億円

減益要因 Δ 27.8 億円

ショッピング収益 増
+29.5

キャッシング収益 減 Δ 7.6

その他収益 減 Δ 2.4

貸倒・利息返還関連費用 増 Δ 8.7

その他販売管理費 増 Δ 8.9

金融費用 減 + 1.6

営業利益
37.6

営業利益
40.9

16/2期

17/2期

営業収益

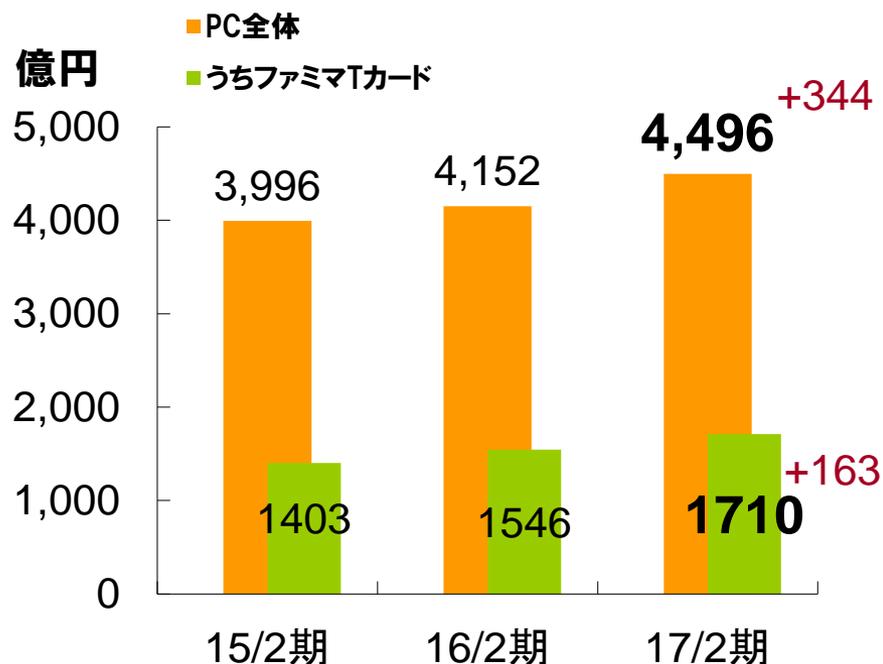
百万円

	16年2月期	17年2月期	前期比	増減率
① 信用購入 あつせん	25,943	28,894	+2,951	+11.4%
② 融資	6,641	5,874	-766	-11.5%
③ その他	3,091	2,850	-240	-7.8%
④ 合計	35,676	37,619	+1,943	+5.4%

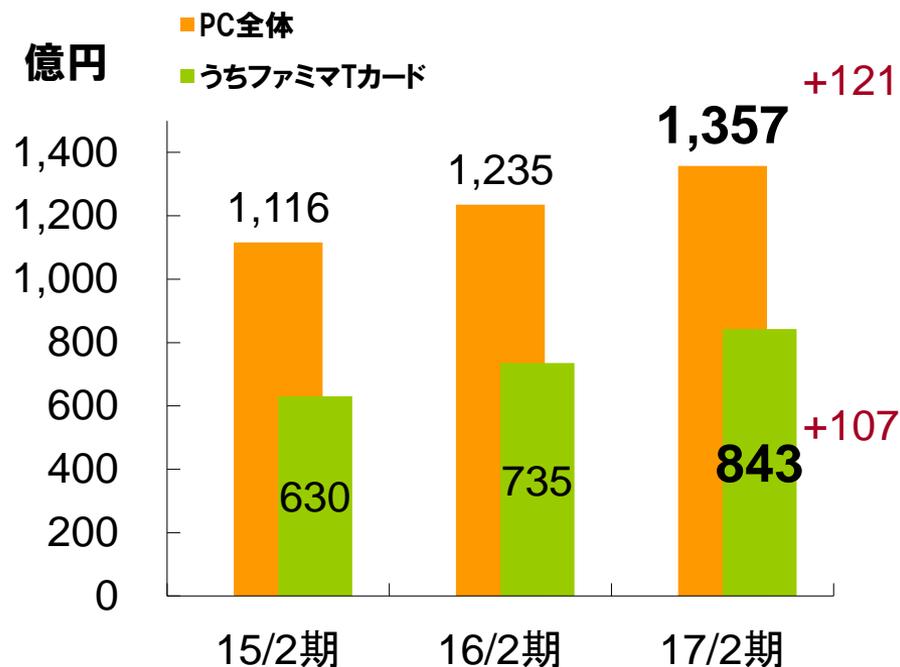
信用購入あっせん部門①

取扱高は好調に推移し、前期比で大幅なプラス
ショッピングリボ残高はファミマTカードを中心に順調に拡大

ショッピング取扱高



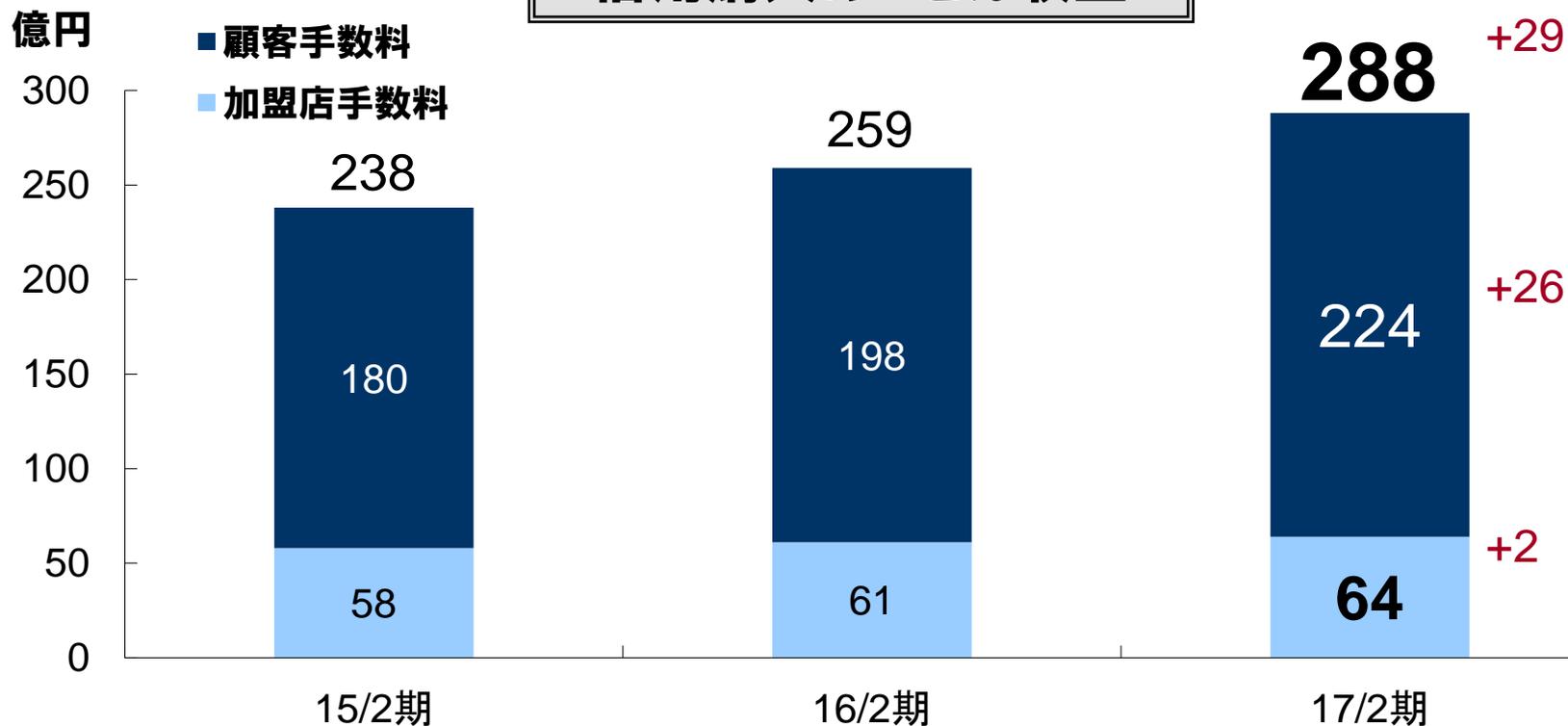
ショッピングリボ残高



信用購入あっせん部門②

ショッピングリボ残高の順調な拡大に伴い
顧客手数料が増収の牽引役に

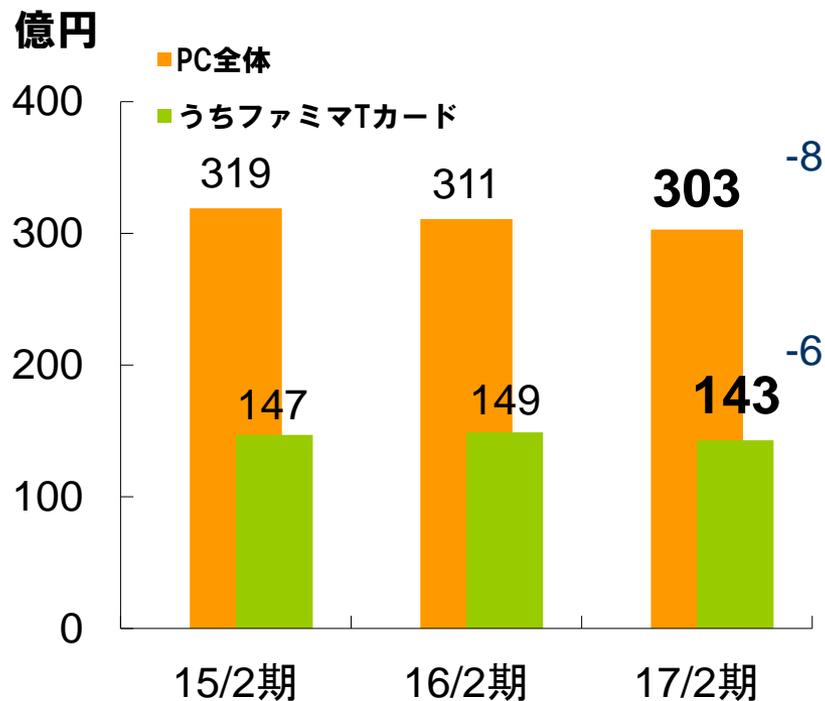
信用購入あっせん収益



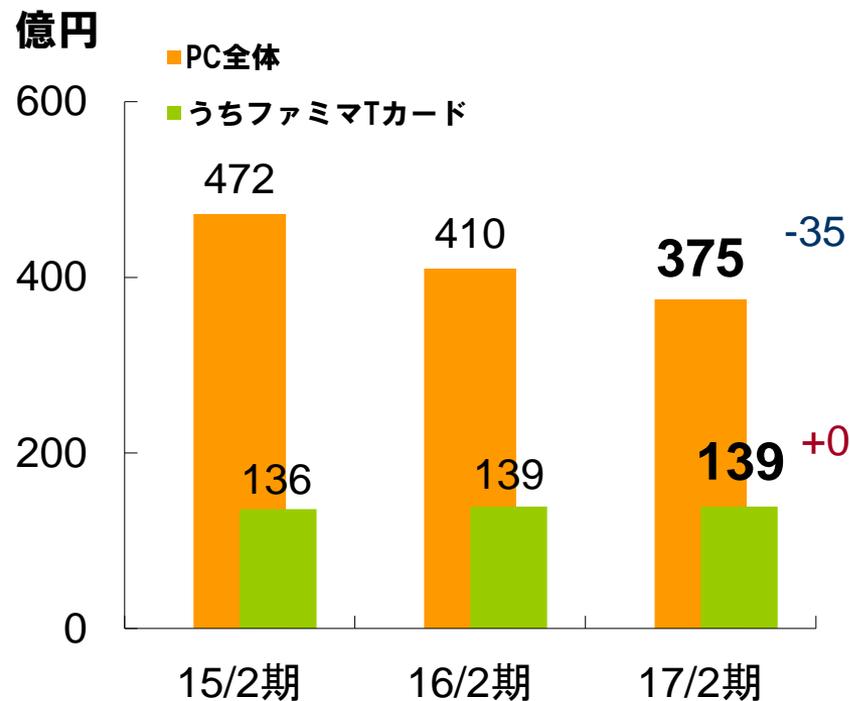
融資部門①

融資取扱高は微減
融資残高は減少傾向が続くも減少幅は縮小

融資取扱高

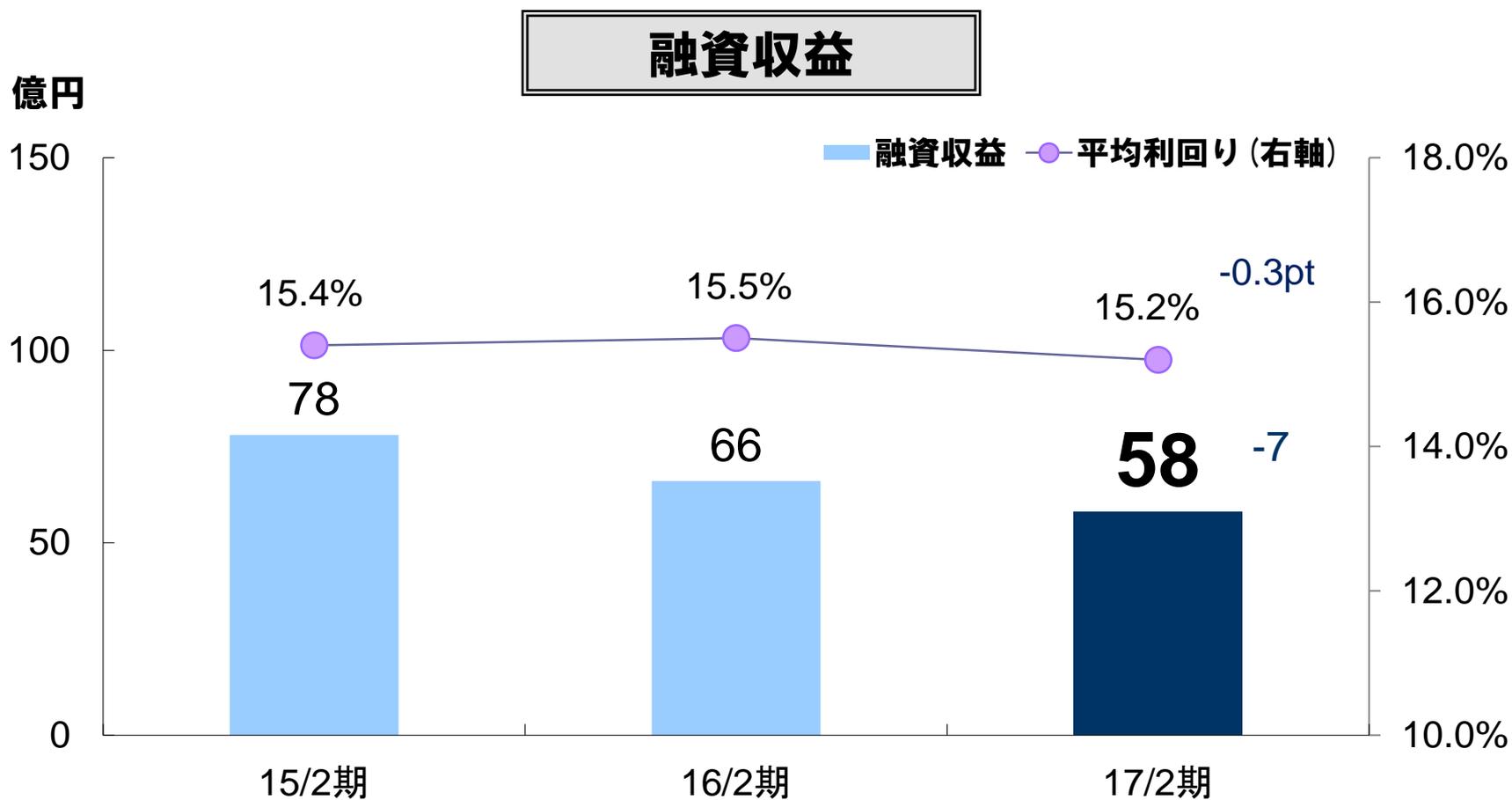


融資残高



融資部門②

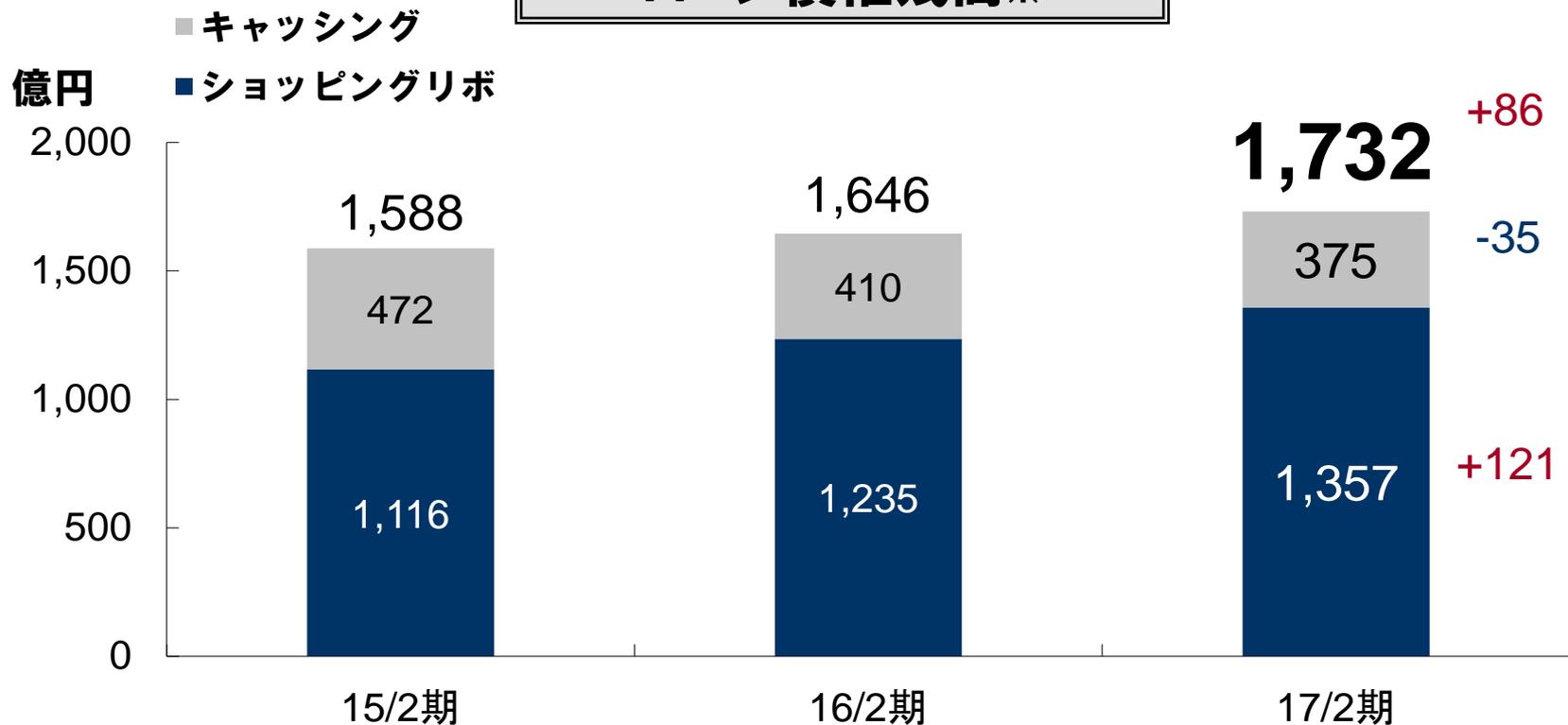
融資残高の減少により融資収益は減収



ローン債権残高

ショッピングリボの拡大によりキャッシング減少分をカバー
ローン債権残高全体では継続的な増加基調に

ローン債権残高※

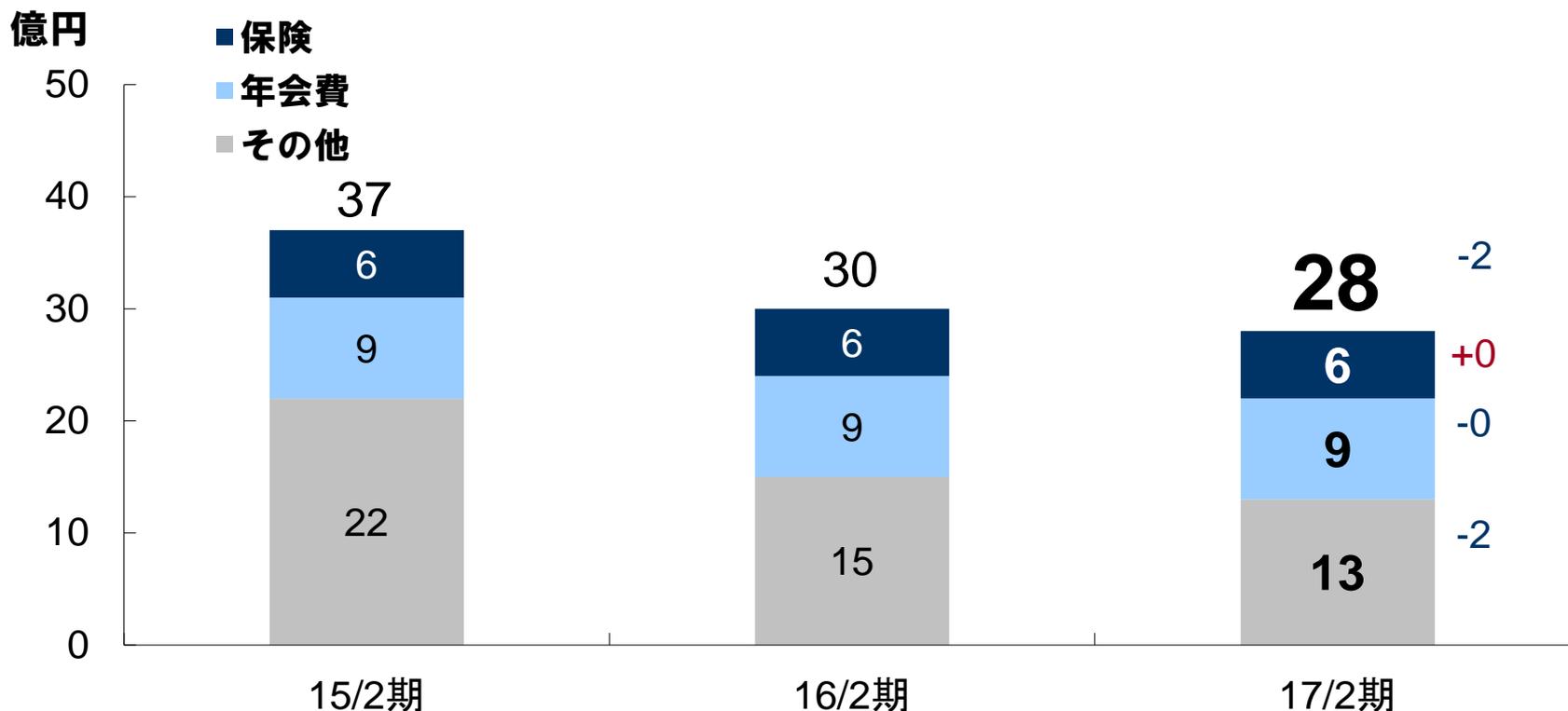


※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

その他営業収益

ファミマTカード獲得に係るファミリーマート社との費用分担見直し等により、その他営業収益は減少

その他営業収益



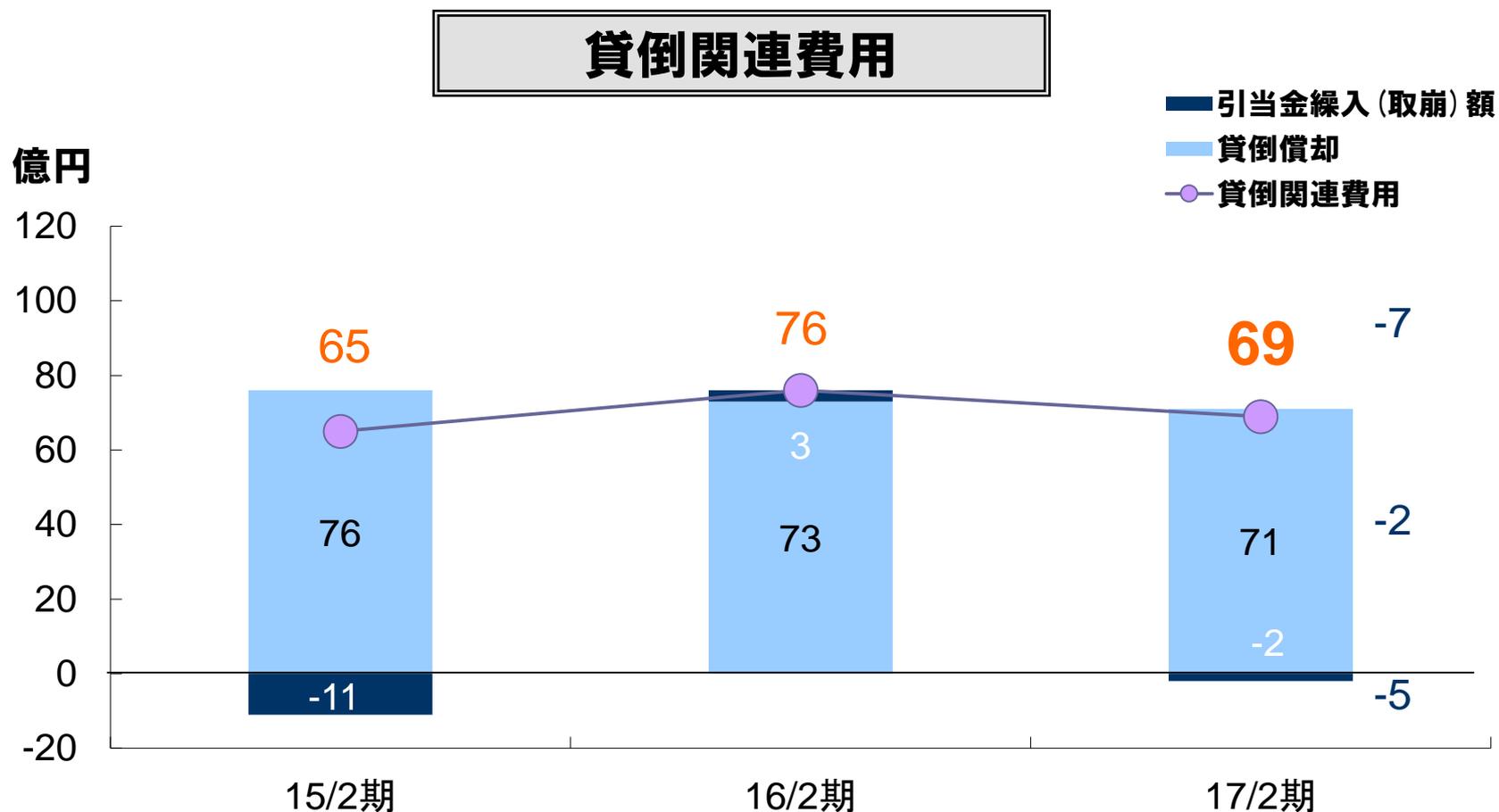
營業費用

百万円

	16年2月期	17年2月期		
			前期比	増減率
① 金融費用	1,265	1,105	-160	-12.7%
② 販売管理費	30,650	32,419	+1,769	+5.8%
③ 貸倒+利息返還 関連費用	11,074	11,951	+876	+7.9%
④ 貸倒関連費用	7,621	6,914	-707	-9.3%
⑤ 利息返還関連費用	3,453	5,036	+1,583	+45.9%
⑥ その他 販売管理費	19,576	20,468	+892	+4.6%
⑦ 營業費用	31,916	33,524	+1,608	+5.0%

貸倒関連費用

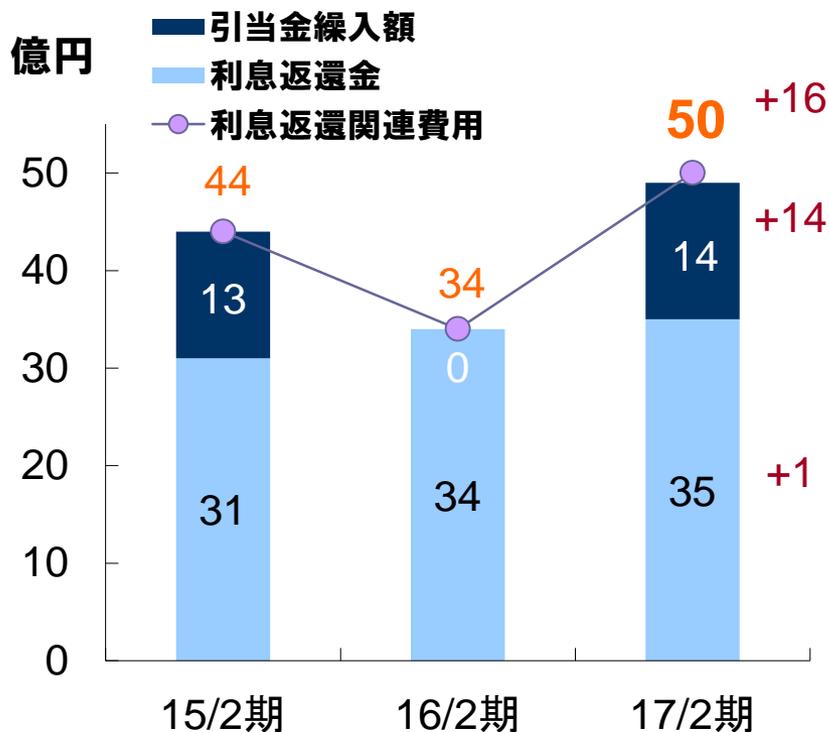
貸倒償却及び引当金繰入額の減少により
貸倒関連費用は減少



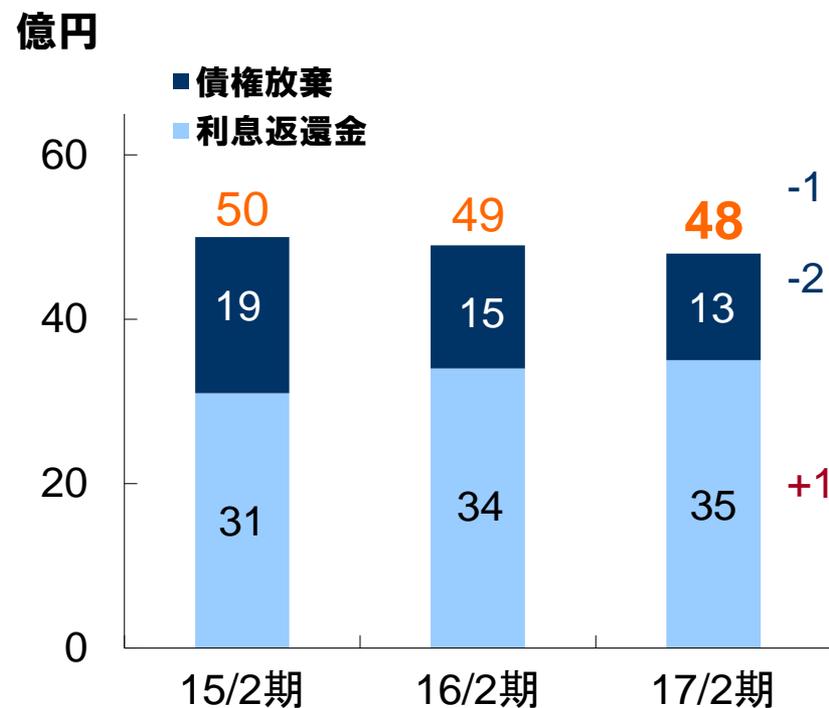
利息返還関連費用①

返還金は横ばい、引当金算定方法の改定を実施した
前期に比べ引当金繰入が増加
利息返還金と債権放棄との合算では前期比減少

利息返還関連費用



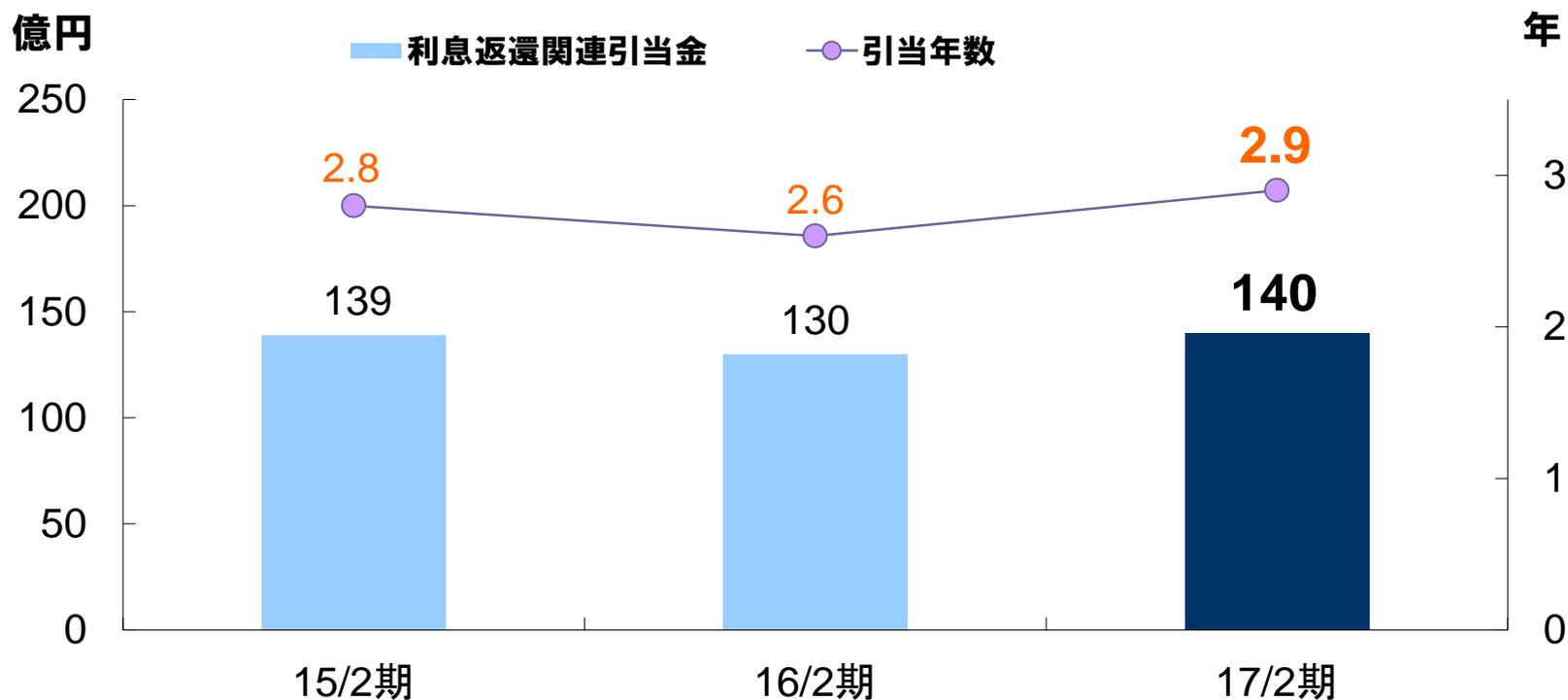
利息返還金+債権放棄



利息返還関連費用②

利息返還関連引当金の引当年数は2.9年と保守的な水準を維持

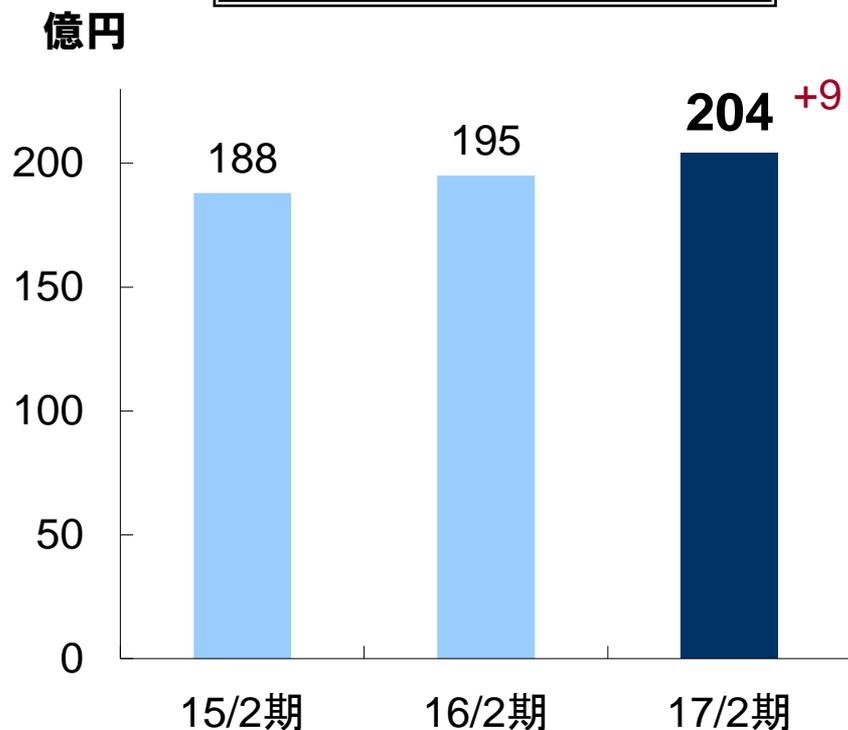
利息返還引当金



その他販売管理費

ショッピング取扱高増加及び新規会員獲得数増加に伴う連動経費の増加等により、その他販売管理費では前期比増加

その他販売管理費



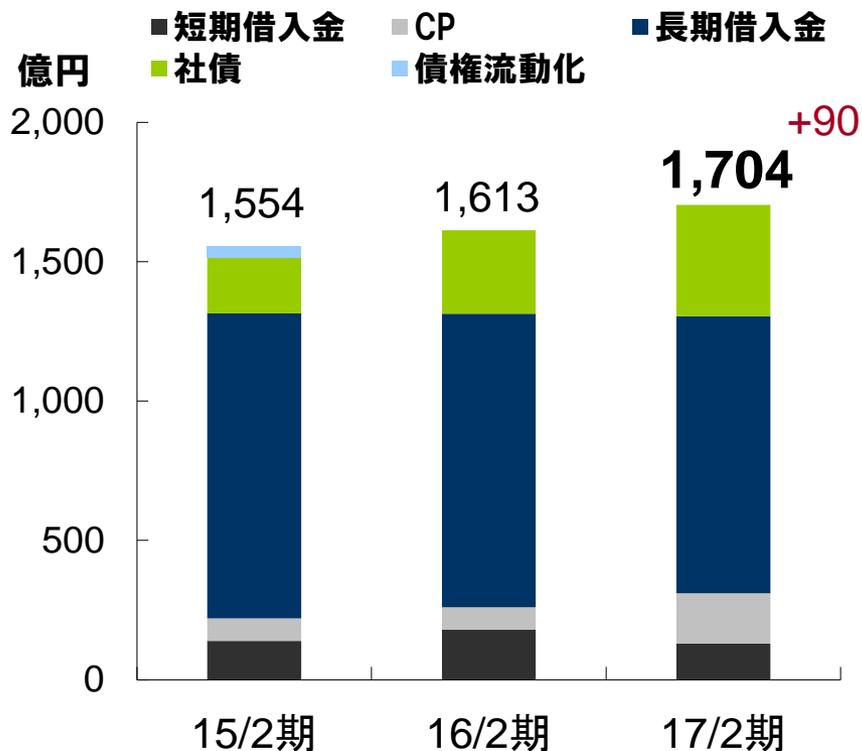
主な増加要因

- ◆ 取扱高増加による連動費用・ポイント費用増等 (+5億円)
- ◆ カード獲得費用増 (+2億円)

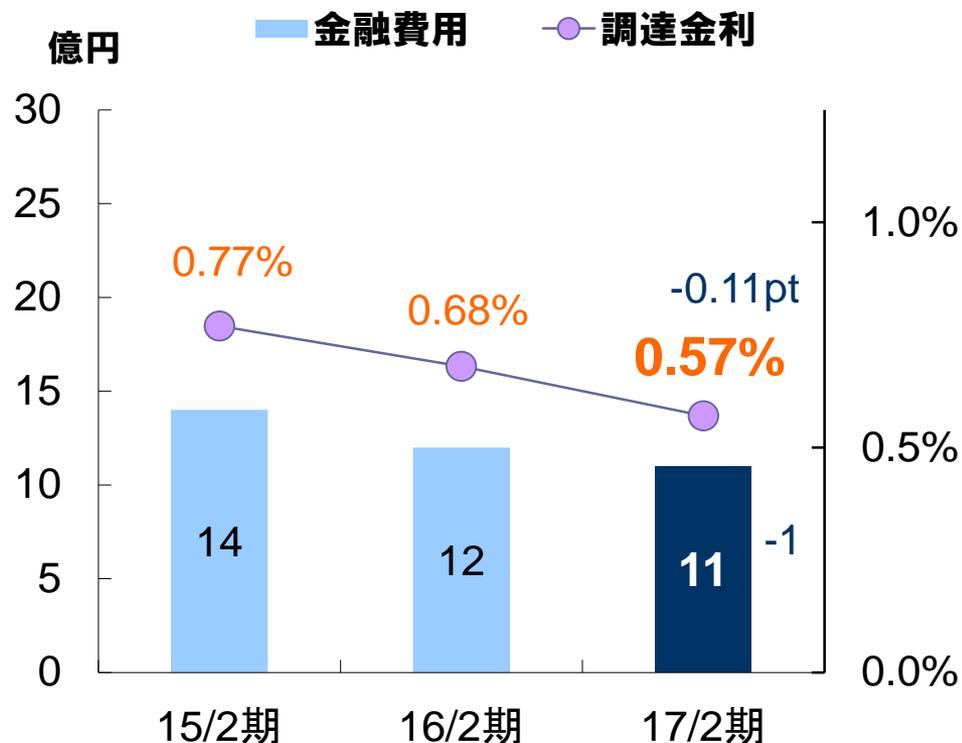
資金調達

調達総額は増加するも調達金利の低下により金融費用は減少

調達総額



金融費用/調達金利



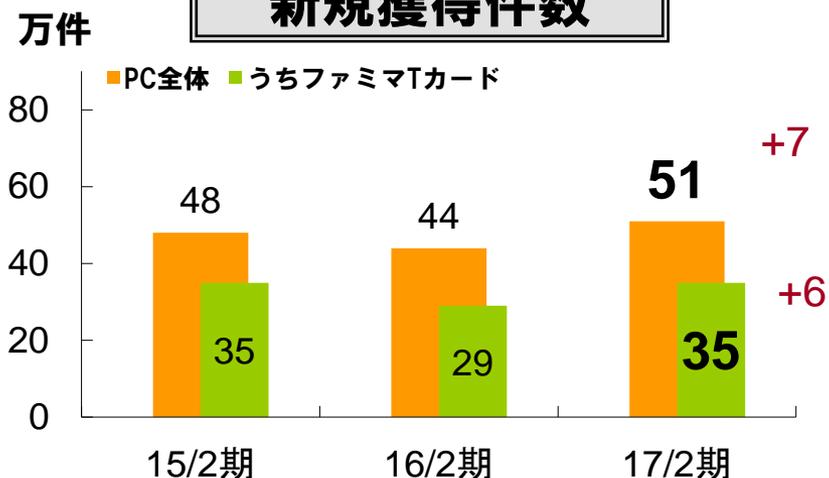
営業数値

新規獲得件数はファミマTカードを中心に拡大

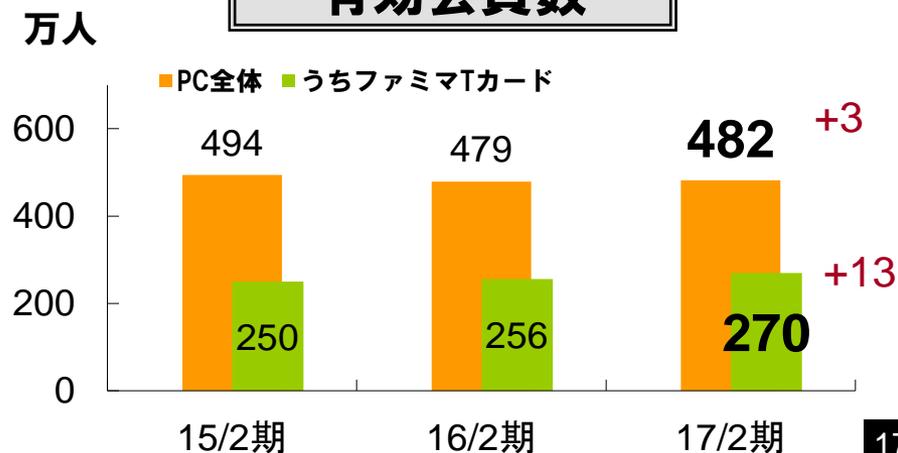
営業数値概況

	17年2月期	前期比
① 新規獲得件数	514 千件	+67 千件
② 有効会員数	4,824 千人	+32 千人
③ 利用会員数	1,906 千人	- 3 千人
④ 年間利用率	39.7%	+ 0.4 pt

新規獲得件数



有効会員数



営業トピックス

「会員専用ネットサービス」をリニューアル

- ✓ トップ画面の内容の充実
- ✓ スマートフォンでも見やすく
- ✓ ポケット・ポイントの照会・交換が便利に
- ✓ ご利用代金明細書照会機能の拡充
- ✓ 「ネットキャッシング」サービスの開始

「Apple Pay」への対応開始

- ✓ Apple Payの設定に当社発行カードの登録が可能に
- ✓ プラスチックカードを持ち歩く必要なく、お支払いは簡単でスピーディーに
- ✓ 簡単で、安全。プライバシーをしっかりと守れるお支払い方法

ファミマTカード・Tカードプラス限定

「Tマネー」オートチャージ・クレジットチャージサービスへの対応開始

- ✓ ファミマTカード、Tカードプラスでクレジットカードから「Tマネー」へ可能に
- ✓ 「オートチャージ」なら事前に設定した残高を下回った場合に自動でチャージ
- ✓ 「クレジットチャージ」ならWEBからお好きなタイミングでチャージ
- ✓ 残高の心配なく、ますます便利にご利用可能に

「会員専用 ネットサービス」が リニューアルしました

2017年2月25日(土)



2017年2月25日(土)に「会員専用ネットサービス」をリニューアルしました。
会員様に、より快適にご利用いただけるサイトを目指し、
画面デザインを一新するとともに、機能を充実させました。

デザイン一新、機能充実!

※ 画面デザイン等は、予告なく変更する場合がございます。また表示されているデータは、すべてサンプルです。



Apple Pay であなたのデバイスがお財布に!



iPhone7とApple Watch Series 2 上のApple Payで、あなたのポケットカードが使えるようになりました。もちろん、お持ちのカードの特典はそのまま。簡単で、安全で、あなたのプライバシーをしっかりと守れるお支払い方法です。



2017年度 経営方針

外部環境

海外経済は引き続き不透明感の高い状況にあるも、
企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、緩やかな回復の動きが続く

マイナス要因

- (1) 中国経済の失速や米国の金融政策正常化等による海外経済の不透明感の高まり
- (2) キャッシング市場の競争激化

- (1) 企業収益・雇用情勢の改善
- (2) 消費に占めるクレジット決済額の順調な成長・カード決済領域の拡大
- (3) 利息返還請求の沈静化の兆し

プラス要因

中期経営計画達成に向けた着実な利益成長

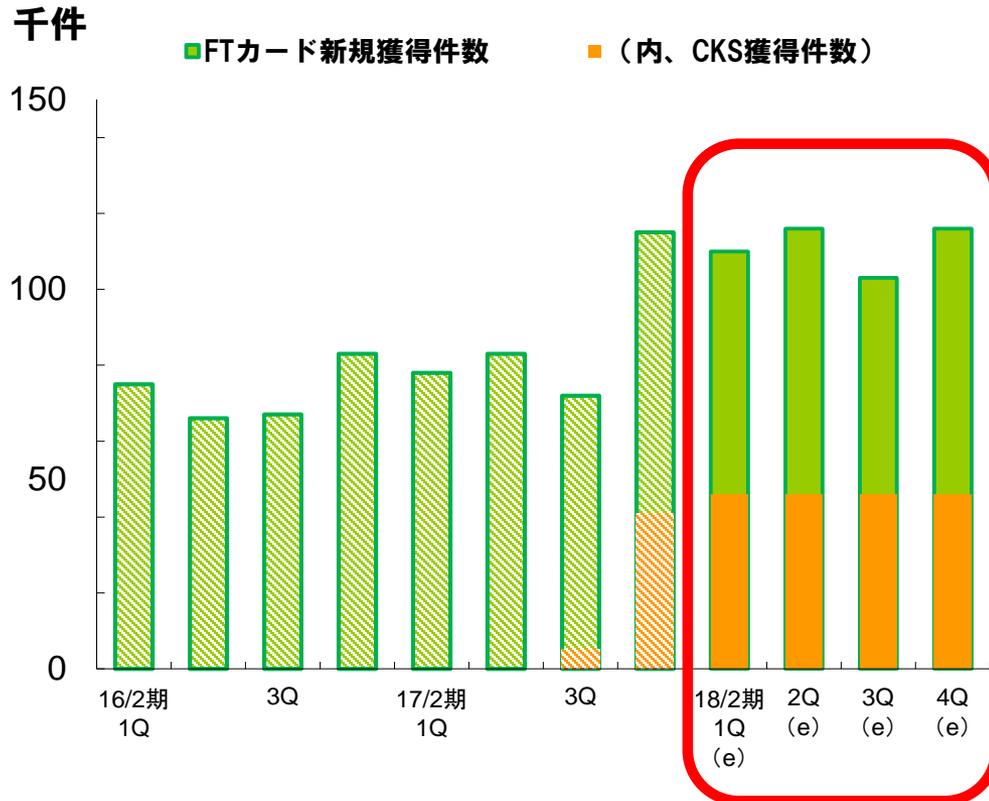


サークルKサンクス転換店への万全の対応

サークルKサンクス転換店への万全の対応①

新規獲得件数は昨年後半以降、増加基調
今期もサークルKサンクス転換店でのファミマTカード募集を本格化

ファミマTカード新規獲得数



2017年2月期
新規獲得件数
35万件



2018年2月期
新規獲得件数
45万件

サークルKサンクス転換店への万全の対応②

ファミマTカード募集に係る体制を継続的に強化

営業拠点として
「名古屋オフィス」を開設

募集拠点人員増強、
契約派遣会社の拡充

募集体制の
強化・拡充

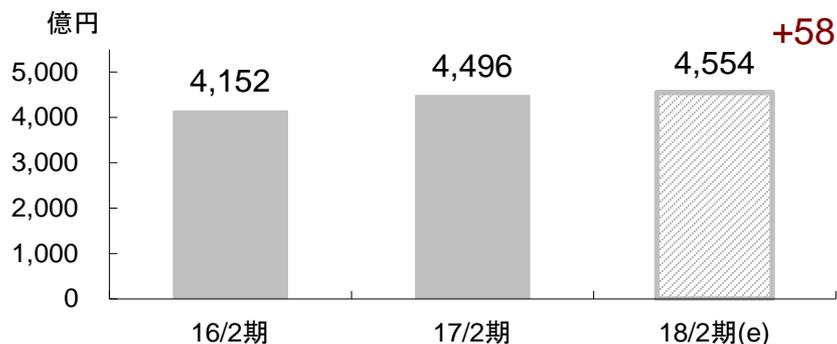
募集スタッフの
教育推進、スキル向上

ファミリーマートとの
コミュニケーション強化

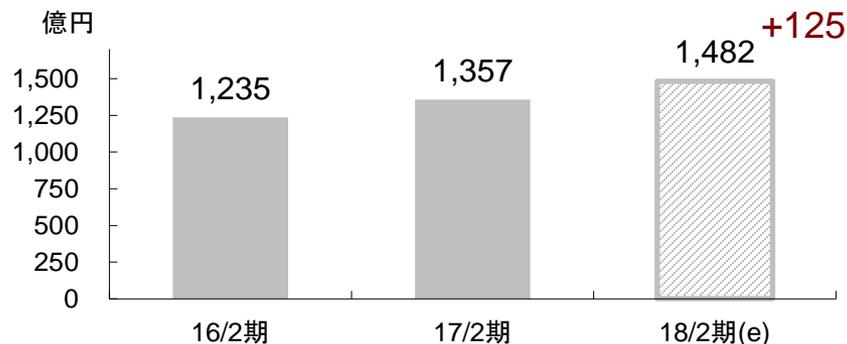
中期経営計画達成に向けた着実な利益成長（ショッピング事業）

取扱高・残高拡大に向け ファミマTカード、既存カードの両面で重点施策に注力

ショッピング取扱高



ショッピングリボ残高



今期計画・重点施策

【計画】

- ショッピングリボ残高 **1,482億円**

【重点施策】

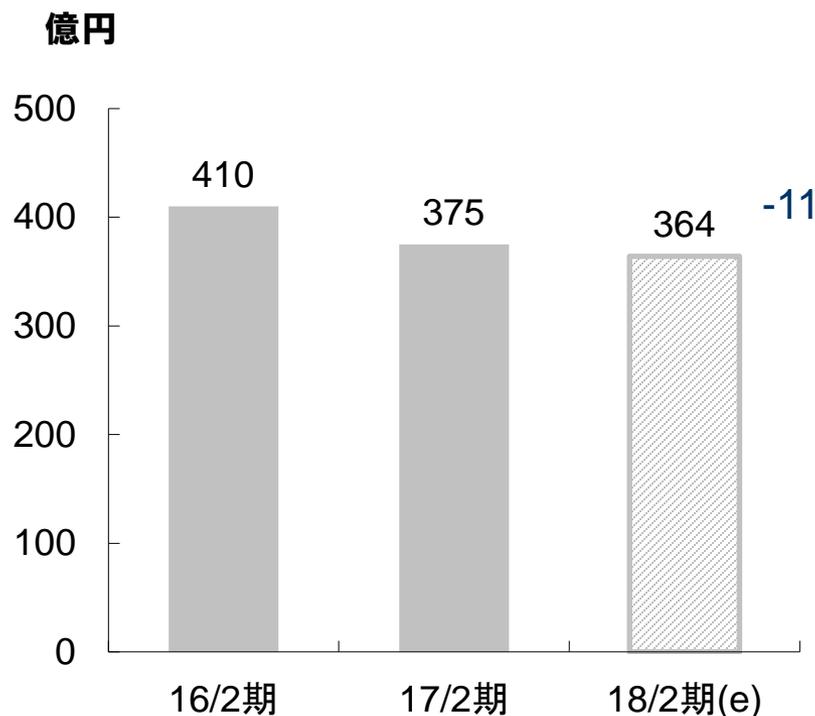
- ファミマTカード・Tカードプラス等の獲得強化、新規提携カード発行（個人・ビジネス）
- 途上与信による利用層の拡大と単価向上



中期経営計画達成に向けた着実な利益成長（キャッシング事業）

カード募集獲得強化、優遇金利等の施策により 残高底打ちに向けた取り組みに注力

融資残高



今期計画・重点施策

【計画】

- 融資残高 **364億円**

【重点施策】

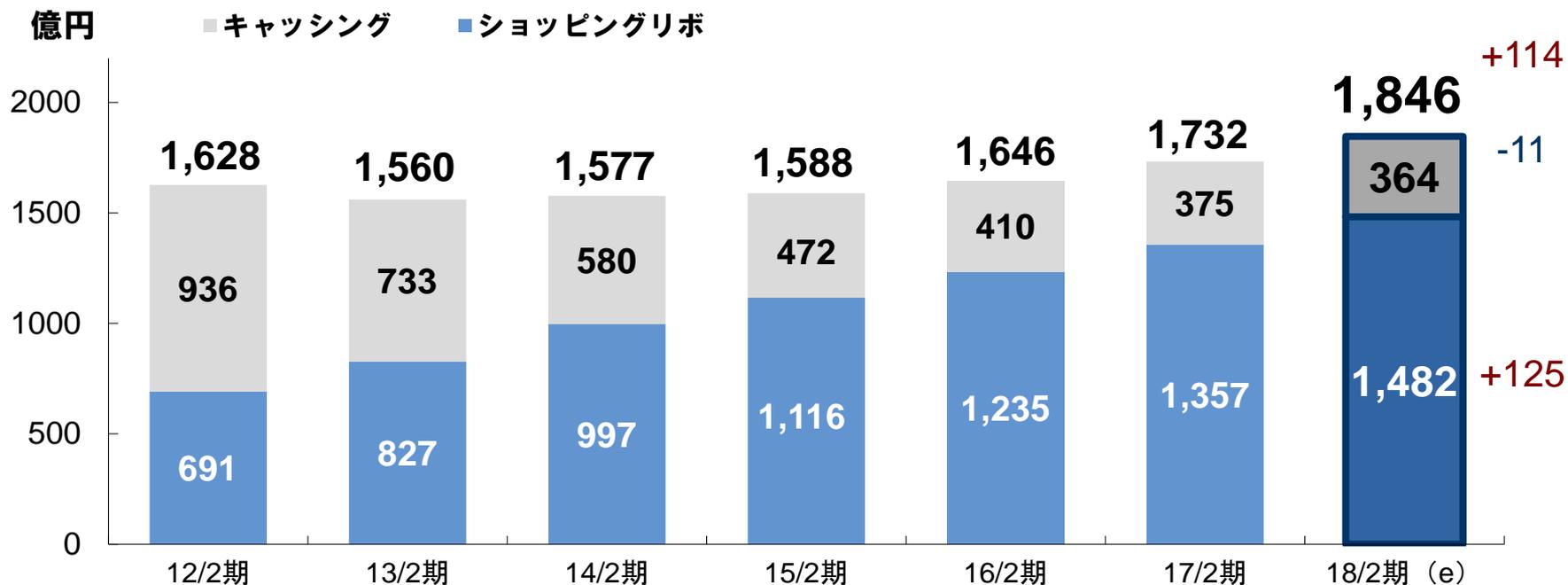
- Fマネーカード、新規提携カード、個人事業主向けローン強化
- 優遇金利施策等、新規入会者・既存融資未利用会員への利用促進



中期経営計画達成に向けた着実な利益成長

ローン債権残高は継続的に拡大、足許で加速

ローン債権残高※



※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

新たな事業領域の開拓に向けた取り組み

伊藤忠商事・ファミリーマートと連携し、
新たな事業領域の開拓に向けた取り組みを検討

・フィンテック、海外事業への取組み

・新たな金融サービスの展開

- ・ Apple Payへの対応
- ・ Tマネークレジットチャージへの対応

既存カード
事業

ファミマTカード
事業

2018年2月期 通期業績予想

持続的な成長に向けて収益基盤の更なる拡大を目指す

	前期実績 (17年2月期)	通期業績予想 (18年2月期)	増減率	中期経営計画 (19年2月期)
営業収益	376 億円	388 億円	+ 3.1 %	400 億円
経常利益	40 億円	53 億円	+ 29.5 %	80 億円
当期純利益	22 億円	34 億円	+ 51.8 %	50 億円

【参考】

一株あたり 配当金	10.0 円	10.0 円	-	-
ROE	3.8 %	5.6 %	-	8 %

免責事項

本資料の記述には、当社の将来の業績に関する見通し、予測が含まれておりますが、これらは現在入手可能な情報からの判断に基づいており、実際の業績は、経済情勢の変化やその他様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

また、本資料の記載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。